

発展問題四 次の文章（ある読書会の開講のことば）を読んで、後の問いに答えよ。

思想的古典に直接向き合って、そこから学ぶためにまず大事なのは、先入見をできるだけ排除して虚^A心（ ）に臨む、ということだ。先入見というのは裁判でいう「予断」に当ります。つまり当該の思想家なり著書なりにたいしてあらかじめ抱いているイメージであり、そのイメージと離れがたく結びついた期待感や嫌悪感です。とくに現代に不評判な古典の場合には、その不評判の背後にある流通観念が先入見として私達を支配しがちです。福沢から一例をとれば、彼は「愚民観」を脱しなかつたので、民主主義者として不徹底だった、というようなイメージです。そういうイメージは流通度に比例して手垢^{あか}がついて正体不明の言語をかかえこむようになります。ですからあなたのいう「民主主義」とは何か、愚民観の「観」とは何を指すのか、というように問い返すと、大抵は明確に定義を下すことなしに自分の思いこみを対象に^ア□□していることがわかります。定義を下すとは同時に自己限定をすることであることを認めますよ、という留保です。そうした限定と留保なしに銘々まるごとの「情念」をぶつけあっている不毛な論争が何と五月蠅^{まぶせ}なしていることでしょう。それが結構まかり通れるのは、一見逆説的⁽¹⁾ですが、日本社会が基本のところ、ツーツーカーカークの同質社会で、他者感覚がそれだけ稀薄^{まばら}だからです。ちよつと脱線しましたが、愚民観に話を戻せば、愚民というコトバを使い、あるいは民衆は愚かだと言っているから「愚民観」だというのなら、カール・マルクスも含めて大部分の古典思想家から愚民観の証拠を引き出すことができます。現に福沢自身ある個所で「西洋の諺^{ことわざ}に愚民の上に奇き政府あり⁽²⁾とはこの事なり(中略)故に今我が日本国においても此の人民ありて此の政治あるなり」(『学問のすゝめ』初篇)と認めているように、「人民はそれぞれ彼等にふさわしい政府をもつ」というのはもと「西洋の諺」です。「だから仕方がないんだ」とあきらめるのか、それとも、だからこそ△ A ∇というのか――

20 いずれかによって「愚民観」はまったく正反対の含意を持つことになります。

福沢が啓蒙主義的な歴史の進歩観の持主だ、というのも現在の通念の一種です。「愚民観」の場合と

〔出典〕

丸山真男『古典からどう学ぶか』ある読書会の開講のことばで、古典に対する心構えを、福沢諭吉の「学問のすゝめ」「文明論之概略」を引用しながら説いたものである。問題文はその中で、古典を読む際に先入見を排除して虚心に接することの重要性を説いている。筆者丸山真男は政治思想史専攻。主著に『日本政治思想史研究』『現代政治の思想と行動』の他、教科書によく採られる「⁽¹⁾である」ことと「⁽²⁾する」ことを含む「日本の思想」がある。

五月蠅⁽¹⁾なして：陰暦五月ごろの蠅⁽²⁾のように。意で、騒がしく、うるさいさまにいう。

カール・マルクス：ドイツの経済学者・哲学者。資本主義体制を批判し、終生国際的社会主义運動のために尽くした。

奇き…むごい。きびしすぎる。「奇政は虎よりも猛なり」(礼記)

同様、通念は通念なるがゆえに間違いだ、というわけではありません。それが無限定なのが困るのです。福沢がどういう意味で、どういう限りににおいて「文明の進歩」を価値的に肯定したかの綿密な□□が大事です。たとえば次の一文を御覧下さい。

「概してこれを云へば、古の政府は力を用ひ、今の政府は力と智とを用ゆ。古の政府は民を御するの術に乏しく、今の政府はこれに富めり。古の政府は民の力を挫き、今の政府は其の心を奪ふ。古の政府は民の外を犯し、今の政府は其の内を制す。(中略)此の勢に乗じて車の轍を改ることなくば、政府にて一事を起せば文明の形は次第に具はるに似たれども、人民には正しく一段の氣力を失ひ、文明の精神は次第に衰ふるのみ」(『学問のすゝめ』五篇)

これは註釈するまでもなく、現代の政治権力がテクノロジーの進歩を統制手段に利用できるようなになったため、どういう事態が生れたか、もしくは生れる可能性があるか、を述べたものです。私は「古の政府は民の外を犯し、今の政府は其の内を制す」というような命題を引いて、福沢をナチズムやスターリニズムの予言者に仕立て上げるつもりは毛頭ありません。ただテクノロジーの進歩によって「文明の精神」が衰弱する可能性を、福沢が戦慄に似た憂慮をこめて指摘しているのを見れば、近代技術文明の躍進と発展をめだためたしと手放して謳歌する「進歩観」を福沢に□□させるには、少くも保留を要するのはあきらかでしょう。

問一 —— 線部 a ~ d の読みを記せ。

c	a
()	()
()	き
d	b
()	()
()	はる

※御す

テクノロジー…技術学。工学。

※命題

ナチズム…ナチス(ヒトラー)を党首としたドイツの政党で独裁政治(断行)の立場。
スターリニズム…ソ連の政治家スターリンの晩年の専制的傾向をいう。

〈ヒント〉

問一(漢字)

問二 ア、 エに次の語から選んでそれぞれ符号で入れよ。

- a 吟味 b 帰属 c 投影 d 帰結

ア||

イ||

ウ||

エ||

問三 — 線部A・Bについて次の設問に答えよ。

A () に適語を入れて四字熟語を完成するには次のどの語を入れたらよいか。符号で答えよ。

- a 無私 b 大胆 c 黙考 d 坦懐 e 自若

B 成語として「前車の轍()」という。この()に該当する語を次から選んで符号で答えよ。

- a に入る b を避ける c を踏む d に陥る e を通る

問四 — 線部(1)の「逆説的」とはどういうことか。次にあげる文の a、 b を、問題文中のことを利用してそれぞれ十字以内のことばで埋めることによって答えよ。

a であるからこそかえって b ということである。

b

a

5

10

5

10

問二(語彙・読解) 文脈を正確に把握する。

問三(語彙) 成句・慣用句についての知識を問う。

問四(語彙・読解) 「逆説」ということばの真意を理解し、文脈を正しくとらえる。